

令和6年度事業計画

通年事業 随時

通訳・翻訳等事業

佐原の大祭夏祭り、秋祭り通訳ガイド
外国人観光客に対する町並み観光ガイド
香取市および関連団体等から依頼があった
際に協力

毎月一回 定例会議を実施し、スケジュールの確
認と事業内容の検討

イベント関連事業

年10回 Living English in Katori (市
民を対象にした日常英会話講座)

総務研修部会

令和5年度

5月29日(月) 正副部長会議

6月30日(金) 理事会・定期総会

香取市国際交流協会通信 Vol.22 の発行

令和6年

1月26日(金) 合同研修会：市原市国際交流
協会を訪問して交流会を実施。

その他の事業 20周年記念誌の編集

通年事業

協会会員、ボランティア登録者の名簿管理、更新
等 通訳・翻訳等の依頼受付 協会ホームページ
の管理とコンテンツの更新

イベント関連事業

5月28日(火) 正副部会長会議

6月28日(金) 理事会・定期総会

6月 KIFA設立20周年記念誌発行

その他の事業

関連団体等の会議の出席者の調整等

20年史の編集について

総務研修部会会長・新井 勝治



10年史を発行した安心感から20年史の編集
にはあまり関心が向かないまま時が過ぎ、やっと
昨年12月の定例会で編集委員会を結成し、木内
志郎会長から心のこもった大きなご支援を頂ける
ことになり、20年史の刊行が実現しました。

各編集委員が手分けをして原稿依頼をした結果、

多くの方々から原稿を集めることが出来ました。
定期総会の資料と年一回発行している年報の中か
ら会員の生き生きとした活動状況をピックアップ
して、また事務局が撮り貯めてきた沢山の写真は
貴重な資料となりました。

この20年の間に起こった東日本大震災と新型
コロナウイルスの発生は日本の歴史上稀な災害発
生であり、KIFAの活動に大きな打撃をあたえ
ました。ロシアのウクライナ侵攻によって国名を
言えず、また恒例の夏祭りへの参加も断念という
悲しい現実を我々多くのメンバーが体験しました。

結果的に、前10年史に劣らぬ冊子となりまし
た。ざっくり詰まった文字に飽きましたら、ぜひ
多彩な写真を眺めて、KIFAの結成20年史を振り
返っていただきたくお願いいたします。

事務局より

香取市国際交流協会事務局 会田・香取

今年、香取市国際交流協会が設立20周年を迎
えました。9月25日の記念式典には、お世話に
なっている沢山の皆様にご出席をいただき、国際
交流協会らしい温かな雰囲気の中で、長い間のご
苦勞をねぎらい合う良い機会となりました。多く
の方々にお力添えをいただきながら、この20
年間を協会会員の皆様が着実に歩んで来られたこ
とを、あらためて実感しました。

また、毎年実施している各事業も好評で、20
24年3月17日の国際交流パーティーでは9名
の方が日本語スピーチコンテストに参加され、夢
や出身国と日本との違いなど、それぞれのテーマ
に沿ったスピーチをしていただきました。聞きな
がら耳を傾けている皆さんの姿がとても印象的で
した。日本文化体験では、お茶・書道・ちぎり絵
に積極的に参加されて、楽しい時間を過ごしてい
ただきました。

来年度も今年と変わらずに様々な事業を行う予
定ですので、引き続き協会活動へのご協力をお願
いいたします。

香取市国際交流協会

Katori International Friendship Association

HP: <http://www.kifa-katori.lg.jp/>

〒287-8501 香取市佐原口2127

事務局 香取市役所 生活経済部市民協働課

TEL: 0478-50-1261 FAX: 0478-52-4566

Email: shimin10@city.katori.lg.jp

HP: <http://www.city.katori.lg.jp/>

2024年(令和6年)12月27日発行

Vol. 23

香取市国際交流協会通信

Katori International Friendship Association
(KIFA) NEWS



香取市国際交流協会 設立20周年記念式典

令和6年9月25日 於 LE UN (ルアン) 佐原商家町ホテルNIPPONIA

香取市国際交流協会結成20周年を祝って

Katori International Friendship Association
設立20周年記念式典



今までと相変わらず香取市国際交流協会の発展のためにご協力を頂きたくお願いを申し上げます。
本日はどうもお集まりいただきまして有難うございました。

香取市国際交流協会会長 木内 志郎

本日はお忙しいところ香取市国際交流協会結成20周年の祝いのためにお集まりいただきまして本当に有難うございます。この日を無事に迎えられましたのも、ひとえに会員の皆様、特に各専門部会を分担しながら頑張ってこられた方々、さらに香取市の事務局を担っていた職員の皆さまのご尽力の結果でございます。心より厚く感謝申し上げる次第です。

私もこのような晴れやかな席で挨拶が出来ることを本当に有難く思います。ここに改めて本日お集まりいただいた方々には、これからも

20周年記念パーティーを終えて

香取市国際交流協会副会長 岡澤美奈子

5年前に15周年を祝った時、あと5年経つと、今度は20周年だね!!な～んて軽い気持ちでお互いに言い合っていました。その5年に入ると、待っていたように新型コロナウイルスが出現し、またまた大変な試練の年月が襲ってきました。全世界で人々の活動が止まり、香取市の私たちの活動も例外ではありませんでした。

15周年の後の5年間の3年半以上にわたって、私たちの活動は思うようには行かず、心身ともに辛い日々が続きました。そんな中でも、お互いを励まし合いながら少しずつでもいいからと、ウイルス感染に注意をしながら活動を続けました。

その甲斐あって、晴れて20周年を迎えることが出来て、20周年の集まりをどんな形で祝おうかと、会場や時間帯などについても話し合いを続けました。

振り返って考えてみると、10周年の時には前だけを見ていたように思います。まだ皆発展途上の真っ只中の香取市国際交流協会だったのかもしれませんが。あの時から10年を経て、会員はそれぞれが年を重ねて、ウイルスの活動休止期間もあって、立ち止まってゆっくり考える時間ができました。自由に活動が出来て、外国人と普通に交流が出来るということは当たり前のことではなく、とてもありがたいことだったということに改めて感謝する気持ちが溢れてきました。

私たちが自由に活動してこられたのは、香取市国際交流協会の木内志郎会長をはじめ、理事の方々、諸会員の方々に支えられてきたことにまち

がいはありません。私たちの活動に対し陰になり日向になり応援し続けてくださった方々と一緒に20周年をお祝いをしたい・・・それが私たちの心からの願いとなりました。

パーティー当日は、開催時間が平日のお昼時間と重なる形にはなりましたが、お忙しい時間を割いて総数34名の方々に参集して頂き、20周年にふさわしい立派なイベントになり、また心温まる楽しい会ともなりました。香取市国際交流協会は木内志郎会長をはじめとして、ご多忙な理事の方々ばかりなのに、20周年を一緒にお祝いしてくださる気持ちがひしひしと伝わって来て感動と感謝の気持ちで一杯になりました。

歴代の事務局の方々も年休を取って出席くださいました。20年という長い年月を一緒に頑張ってきた方々と共にお祝いできたことは、何ものにも代えがたいものになりました。会が終わり、帰りがけに「とても楽しかった!!」「いい会だったね!!」「お疲れさま!」と皆さんが声をかけてくださり、私はなんて恵まれた環境で活動させてもらっているんだろう!!ということを再確認しました。

最後になりましたが、現事務局の香取さんと会田さんには本当にお世話になりました。お陰さまで思い描いていた通りの素晴らしいパーティーになりました。鈴木課長と石橋班長には、いつも当協会に心を寄せていただき感謝しています。

すでに、今は21年目を歩み出しています。これからも応援をよろしくお願いします。



めで、二時間の予定が昼食を一緒にし三時間以上の案内になりました。私も仲間になれたようで、楽しい時間をシェアできました。

中には、日本人と結婚し案内不要と言う方々も多く見られますが、必要とされるリクエストには心を込めて期待に応えたいと思います。

令和6年度の活動

イベント関連事業

11月9日(土) 英語でウォーキング(香取神宮)

11月30日(土) ホストファミリー交流会

12月14日(土) 英語でクラフト

令和7年

2月1日(土) お茶を楽しむ会

3月 KIFA国際交流パーティー(合同開催)

その他の事業

随時 ホームステイ受け入れサポート、等

通訳案内ボランティア部会

令和5年度

5月3日～6日 町おこしイベント協力

6月14日 香港輸出支援事業 通訳ガイド

6月21日～22日 アメリカ人観光客通訳ガイド

7月14日～16日 佐原の大祭夏祭り 通訳ガイド

7月14日 サイパン市長一行町並み案内通訳ガイド

7月15日 上智大学・筑波大学留学生一行 通訳ガイド

8月16日 ちば国際会議エクスカーション 通訳ガイド

8月26日～27日 観光庁モニターツアー 通訳ガイド

9月 8日 千葉県モニターツアー通訳ガイド

10月13日～15日 佐原の大祭秋祭り 通訳ガイド

10月14日 千葉県モニターツアー通訳ガイド
IES全米大学連盟センター 通訳ガイド

11月 4日 切り絵と歴史的町並み散策ツアー 通訳ガイド

11月12日 リトアニア人観光 通訳ガイド

11月16日 佐原の町並みを着物で散策ツアー 通訳ガイド

11月18日 古典芸能を着物で鑑賞ツアー 通訳ガイド

11月26日 ユネスコ協会への協力(ふるさとフェスタ)

12月 2日 発酵体験ツアー 通訳ガイド

12月16日 発酵体験ツアー 通訳ガイド
令和6年

1月20日 発酵体験ツアー 通訳ガイド

その他の事業 定例会議(月一回)

市民を対象にした日常の英会話講座 Living English in Katori (5/24 6/14 6/28 7/12 7/26 8/23 9/13 9/27 10/11 11/1 全10回)



関連団体の総会等

5月11日 姉妹都市交流事業会議

5月16日 東国水郷観光推進協議会総会

11月30日 東国水郷観光推進協議会・視察研修会

2024年を振り返って

通訳ガイドボランティア部会

副会長 安藤 登志子

長い暗いコロナ禍が終息して、二年目の今年は観光客も増え、佐原の夏祭りも以前のにぎわいを取り戻したように思えました。海外からのお客様も多く見かけるようになり、KIFAの活動も少しずつ活発になってきました。

そして秋祭りでは、アンケートの結果、こんなにも世界中からお客様が、佐原に来てくださっていることに感動しました。インターネットでボランティアガイドを知って、連絡してくれた外国の方も何組かいらっしゃいました。東南アジアや中東から来日する方も増えているように思います。祭の期間中にこれほど多くの外国人観光客を見かけたのは、久しぶりだと感じました。

ガイドで印象的だったのは、伊能忠敬の功績に興味を持って熱心に話を聞いてくれて色々と質問をしてくれた方が何名かいらっしゃったことです。

モニターツアーの通訳もあり、以前の活動が戻って来たことを実感しています。これからも、沢山のお客様に喜んでいただけるガイドを努めたいと気持ちを新たにしました。

0人位になるだろうか。その人たちが帰国して、香取市でのことなどを話し広めてくれて、やがて母国のために活躍する人材になってくれたら・・・と想ってしまう。

○ホストファミリーを募集します！ 交流部会副会長・川上 みちよ

ホストファミリー交流会

2024年11月30日開催

2024年ウイスコンシン州友好使節団が香取市から派遣されました。いよいよ来年はホームステイを受け入れることになります。今年のホストファミリー交流会は、前回と今回も友好使節団としてウイスコンシン州を訪問された篠笛奏者の片野聡氏をゲストにお迎えして、ホームステイの体験を話していただきました。

今回のウイスコンシン滞在期間は、ホストファミリーと過ごす時間は少なかったそうです。折角の機会なので、香取市で受け入れるときは、余裕を持ったスケジュールを作ってください、有意義なホームステイになることを心から願っています。

一方、交流会の参加者の方々は、皆さんがその受け入れに関心をお持ちです。実際の受け入れが今から楽しみになっています。これから、一人でも多くの方々にホストファミリーについて知っていただきたいと考えています。



○国際交流パーティー

2024年3月17日

毎年、年度末に実施している KIFA 国際交流パーティー。コロナ明け2023年からは、午後の開催で行っていました。日本語スピーチコンテストでは、参加者も増えて、見応え、聞き応えのあるコンテストになりました。

また、今回は、久しぶりにお茶のブースが復活しました。初めての試みとして、席に着いた方々

が実際にお茶を点てる体験をしました。参加者からはとても好評でした。しばらくはこのスタイルで続けたいと思います。

ちぎり絵の題材は「もくれん」でした。ちぎり絵と書道は、体験した作品を持ち帰ることが出来ます。皆さんは真剣に、楽しんで取り組んでくださいました。

国際交流パーティーでは、日本語教室の皆さんが練習の成果を発表し、私たちは皆さんの思いを聞くことが出来ます。いろいろな体験もできて、新しい出会いもあります。貴重な機会だと、あらためて感じています。



通常が戻って来た案内

交流部会副会長・吉川 玲子

長いコロナ生活が少しずつ収まり、外国人旅行者が少しずつ増え、私たちに案内の依頼が来るようになりました。

小野川クルーズ船での夜食は普段とは趣の違う味がする時間でした。日毎に町並みが活気づいて来ました。

五月にはニュージーランド人夫妻が町屋館や老舗店を楽しみ、市民講座に参加してくれました。日本にも家があり佐原を懐かしんでいる姿に嬉しくなりました。

佐原の大祭にはシンガポール人夫人と日本人夫を短時間で和紙の店・小物店・ジャージャー橋、そして和食と仲良く楽しんでくれました。リビングイングリッシュ講師グラント先生と夫人との和食は大好評で、夫人はアルコールも入り終始笑顔で満足してくれました。

十一月にはビーガン料理体験ツアーをメンバーが交替で案内しました。自由時間には切り絵の野口先生を訪問して、作品の葉書をお土産にもらい、感動していました。もちろん、伊能忠敬旧宅や町並みを歩きながら買い物を楽しんでいました。道に駅まで行きたいという人には車で案内しました。

オーストラリアからの三人組は何にでも興味を持ち、写真を撮りまくり、笑い声の連続で質問攻

2023年(令和5年)～2024年(令和6年)

KIFAの活動状況

役員一覧(令和6年6月28日現在)

会長: 木内 志郎 副会長: 栗林 利男、岡澤 美奈子
会計: 小森 哲、伊能 盾雄
監事: 小森 孝一、久保木 一三 理事: 19名

顧問: 伊藤友則(香取市長)、河野節子(香取市議会議長)、
谷田川元(衆議院議員)、谷田川充丈(千葉県議会議員)

令和6年度 部会長・副部会長

部会名	部会長	副部会長
言語学習部会	沖 祝子	高田 剛
交流部会	伊能 盾雄	川上 みちよ、吉川 玲子
通訳ガイドボランティア部会	岡澤 美奈子	安藤 登志子
総務研修部会	新井 勝治	篠塚 登志子

言語学習部会

令和5年度事業

通年 日本語教室(毎週木・日曜日、コンパス及び山田公民館で開催)

また、法人向けの外国人研修生を対象にした日本語教室を開催。

中国語教室・太極拳(毎週土曜日、コンパスで開催)

令和5年10月1日(日)日本語教室の日本文化体験(銚子市方面)

9月3日(日)～10月29日(日)日本語ボランティア養成講座の開催

2024年度の活動報告

言語学習部会々長・沖 祝子

2024年もあっという間に過ぎ、もう師走です。日本語教室、中国語教室、太極拳教室で熱心に活動が展開されています。各教室の活動を振り返ってみたいと思います。

(1)日本語教室

コンパス日本語教室の延べ登録人数
(ボランティア3人)

ベトナム4人、中国6人、インドネシア1人、フィリピン2人、スリランカ1人、タイ1人、アメリカ 1人

山田日本語教室の延べ登録人数
(ボランティア2人)

インドネシア 4人、タイ 4人、合計 8人

The 20th Anniversary
香取市国際交流協会20年の歴史

～苦難の10年を乗り越えて～

HOW WE OVERCAME VARIOUS CHALLENGES!
The Second Decade of Friendship 2003-2023



香取市国際交流協会
Katori International Friendship Association (KIFA)

各教室とも、学習者の出席が段々少なくなることや、来たり来なかったりで、指導の仕方や教室運営の方法を考えなくてはいけないと思っている所です。

外国人児童の日本語教育

現在、山田教室にタイ人のお母さんと娘さんが来ています。4月から、小学校と中学校に入ることです。また、学校の方から、ベネズエラ、モンゴル、カンボジア、ネパールの子供たちの為のボランティアをさがしているという話も来ています。子供たちは、ひらがな、カタカナから学ぶわけですが、週に一回ではなかなか進まないし、ボランティアでは必要な教材もありません。このような多様な国々の言語話者を探すことはとても難しいことです。

就学前に、子供たちを3ヶ月ほど毎日、日本語教室で勉強させた後で、学校に通うような制度をつくる必要を感じています。

(2)中国語教室

会員9名

人数は少ないですが、10年以上継続している方、中国で仕事をしていた方、中国語が好きで初歩から勉強を始めた方など、新しい方も1人、2人と入って来られています。また、秋には、日中友好協会主催のスピーチコンテストがあります。今年は、朗読部門に2名、スピーチ部門に1名の方が参加して3名とも賞状を頂きました。残念ながら、全国大会には出られませんでした。徐先生が自分の時間を削って、熱く指導してくださったお陰で、中国語の力がついて、レベルアップできたことは確かです。

(3)太極拳

会員19名

健康のために入ってこられる方が多いです。長く続けていらっしゃる方も7名くらいいらっしゃいますが、新しい方が増えて毎週1回土曜日に体を動かしています。武術が基になっているので、先生に基本の型や呼吸法などの話を教えていただき、型の意味などを知るのも楽しいです。

どの教室も、これだけ長い間続けてこられたのは、会員の連絡網を作ったり、会計をしたり、場所の予約をしたりといった、細かい仕事を分担してやってくださる会員の方々の協力のおかげです。これからも皆さんの協力のもと、教室運営を続けていけることを願っています。

令和5年度の活動

言語学習部会副会長・高田 剛

外国人のための日本語教室の活動報告

2023年度 加入生徒 34名

フィリピン女性 1名/ チベット男性 2名/
バングラデッシュ女性 3名/ タイ女性 1名/
ベトナム3名(男性1名、女性2名)/ 中国11名
(男性9名、女性2名)/ インドネシア男性2名/
アメリカ男性1名(自宅、いぶき館出張)

2024年度 新規加入生徒14名

タイ男性 2名/ ベトナム男性 1名、女性 2名
スリランカ男性 1名、女性 1名/
フィリピン女性 1名/ アメリカ女性 1名
山田教室 → インドネシア男性1名/
タイ家族1(女性4名)

2024年12月16日現在の実績

コンパス開催 66回/ 山田教室開催 28回/
出前授業 31回/ 個人出前授業 8回

学習者合計 1005名(前年度1332名)
インドネシア 57名(前年90名)/
ベトナム・タイ 94名(前年114名)/
アメリカ・ベネズエラ・ウルグアイ・スリランカ・
バングラデッシュ29名(前年68名)
ネパール 76名(前年108名)/
フィリピン 688名(前年788名)/
中国・台湾 47名(前年168名)
本年度は、まだ3ヶ月残っていますが、昨年度並
みの実績は残せると思います。

次に、日本語教室の現状を報告します。

昨年度はいろいろなことがあり、9月の時点で

予算を使い切ってしまったので、その後の7ヶ月間は、全くの赤字経営でした。今年度は、会計責任者を交代して、まず昨年度の不払い分を返済して、今年度は無駄な経費を極力なくして、今ある教材の紛失を極力防いで、出来るだけ予算を守ることを心がけています。

今、私が心がけていること

- ①日本語教室に来る方々と連絡を密にすること。
LINEを利用する。
- ②生徒さんの学びたいことを第一に考える。教材はみんなの日本語に統一する。
- ③どこを教えたか?どこを学習したか?をその都度記録する。



問題点

先生方も生徒さんたちも多種多様です。パワハラやセクハラの問題も起こりやすい世の中です。どんなに良いことだと思っても、急に变えることはできません。それに、他人を自分好みに变えることは絶対無理です。自分が変わらなければなりません。気を長くして、腹は絶対に立てないようにするのが肝心です。

というわけで、色々ありますが、私の結論としては、外国人のための日本語教室は、無料で、しかも何も個人情報を開かれる必要もなく、安心して日本語を教えてもらえる「やさしい先生のいる場所」でありたいです。

だから、問題は起こさない、起こさせないようにしていきます。

日本語スピーチ・コンテストについて

いま、私が考えていることは、来年3月のKIFAの国際交流パーティーでの日本語スピーチ・コンテストのことです。先日、佐原学園の竹中校長がKIFAの法人会員になっていただきましたので、学園の生徒さんにも何人か出場もらって、盛大なスピーチ・コンテストになることが期待されます。

来年は、私もパートで、学園の臨時教員をする予定なので、この学園からよい影響を受けて、日

本語教室をさらに発展させたいと思っています。

また、去年から佐原小学校で外国人補助員をしています。ベネズエラ人の5年生の男子を教えました。が、「みんなの日本語50課」を教え終わるので、来年3月で補助員を終わる予定です。新しい経験ができて楽しかったです。

来年は、「佐原学園」の日本語学校での経験が楽しみです。

令和6年度の事業計画

通年事業 毎週木曜日・日曜日 外国人の為の日本語教室(コンパス)
毎週木曜日 外国人研修生を対象にした日本語教室
毎週日曜日 外国人のための日本語教室(山田公民館)
毎週土曜日 中国語・太極拳教室(コンパス)

イベント関連事業

日本語教室生を対象にした日本文化体験
令和7年3月 KIFA国際交流パーティー(合同開催)

交流部会

令和5年度の活動

6月24日(土) 英語でウォーキング:水郷佐原あやめパークで実施。ハナショウブやハスを見ながら散策

11月11日(土) ホストファミリー交流会:中学校での交流事業と国際交流員の話聞き、ホストファミリーに興味のある方たちとの交流会を開催。

12月9日(土) 英語でクラフト:英語を楽しみながらクラフト(切り絵)を体験。

令和6年

1月27日(土) 身近にお茶を楽しむ会:令和元年以来の実施。冬のお茶会として初めてさわら町屋館で開催。



3月17日(日) KIFA 国際交流パーティー2024
各部会と合同開催。日本語スピーチコンテスト、日本文化体験など

雑感

交流部会会長・伊能 楯雄

①20周年の集い

今、記念誌『香取市国際交流協会20周年の歴史』のページをめくり、その記録をあらためて目にしている。あわせて、今年9月25日の記念式典の記念写真を見ている。34人の顔があった。協会発足時からのメンバーも多い。私もその一人だ。記念誌のページ、ページに目をやり、懐かしい歩みを思い出す。残された写真は20年の実績の証し、黄色のユニフォームは活動の象徴のよう。

私たちの協会は、地元香取市により、資金面でも実務面でも厚い支援を受けて活動してきているが、本来は有意の人たちによるボランティア活動であり、「人が財産」の団体である。今後、益々必要とされるであろう協会活動を継続発展させるためには、何をしておくべきか、今、考える時にきているように思える。

20年の年を重ね、実績を積んできた。30周年の記念写真を見る日を楽しみに待っている。



②国際交流パーティー

協会あげての行事であり、日本語スピーチコンテスト、日本文化体験を通して、スピーカーや、その支援の人々多数との交流の場、香取市そして日本を知ってもらう場。

スピーカーは外国の若い人たち、就労・技術習得などのため3年程度在留する。スピーチでは、母国のこと、日本での思いを語ってくれる。間もなく帰国する、懸命な人たち。

私のこのパーティーでの役割は、スピーチコンテストの審査員と「閉会の言葉」係である。近いうちに帰国するであろう若い外国の人たちに贈る言葉を添えようと考えながら話す。これまでスピーチの壇上に立ってくれた人の累計は70人〜8